

80歳にして大山山頂へ

……祝神谷さん……

時 2017. 11. 8 小雨→曇り 15,000歩

コース 秦野駅→バス→ヤビツ峠→大山(1,252m)→見晴台→下社(解散)

参加者 L. 市川、SL. 市村、中村ゆ 他23名(内80歳以上3名、来年80歳1名)



家を出た時は曇っていた空が、秦野駅に着くと小雨になっていた。バス停がわからずウロウロし、ようやく発見すると、既に皆さん順番に列んでバスを待っていた。バスに約30分ゆられヤビツ峠に到着した。シーズンなのに降りたのは我々以外2、3組。チョッピリさみしい雨のヤビツ峠



皆、雨の装備を万全にして集合
リーダー慎重に「今日は、スピード組・ユッタリ組に分けて歩きます、どちらにするかは自分で決めてください」
「ユッタリ組が先に出発し、スピード組はコンパス設定の確認をしてから出発します」



これユッタリ組、「準備体操してから出発します」
「途中でスピード組に抜かせます」
快速と各駅停車方式だな！



ユッタリ組の先頭は吉越さん、最後が市村さん、遊撃隊が市川リーダーと万全の体制で……
雨もだんだんあがりそうな気配



気合を入れて、ゆったり組出発



雨のヤビツ峠はシーンと静まり、他の登山客も見えずヒっそりと・・・



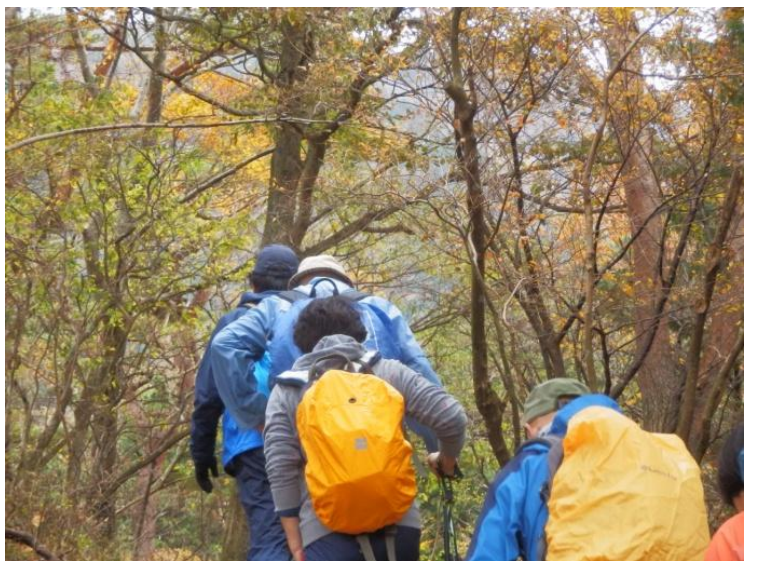
「どうぞどうぞ先頭で行ってください」
遅れ気味の人は先頭に出されて、美しい譲り合い



「大分あがってきたな・・・？」
まだ高度のほとんどはバスで稼いだ・・・



「出発しますよ！」まだ皆余裕の表情で・・・



身体もだんだん暖まって・・・
気持ちよく森の中を・・・



早めの給水タイム、



リーダーの見守る中を出発
「ゆっくりで良いですよ！」



大山は表参道も裏道も、山道と言うより岩場や階段が多く、その階段の一段一段が大きいので・・・



「チョット息があがってきた！」
スピード組を抜け出してきた藁谷さんも一緒に・・・



ついに鎖場登場
「滑らないように気をつけて・・・！」



この頃になるとおしゃべりも減って・・・
モクモクと・・・



80歳、79歳と続いて先輩を立てながら・・・
79歳が余裕の表情・・・??



この頃には雨も気にならない程度になって・・・



大山山頂まで「1.2km」の標識を横目に・・・



チョット道幅に余裕のあるところで休憩



そこへやってきましたスピード組の面々
余裕の表情で「お先に！上であってますヨ！」



「持っているのはきっとケーキだな？」
ケーキと言えば平塚が本場らしい、平塚のケーキ？



続いてゾクゾクとスピード組が・・・
皆で見つめる中を「なにか嬉しそう？」



河野さんがシンガリをつとめ、全員が通過！



「では、我われも出発しましょうか！」
「神谷さんまだまだ余裕ありますね・・・！」



やっぱり大山は修験者の山だな・・・
何処から登っても道が険しい！



皆の顔つきもだんだん修験者顔に・・・



ただ、最後尾で呑気そうにしているの也有います！
余裕？



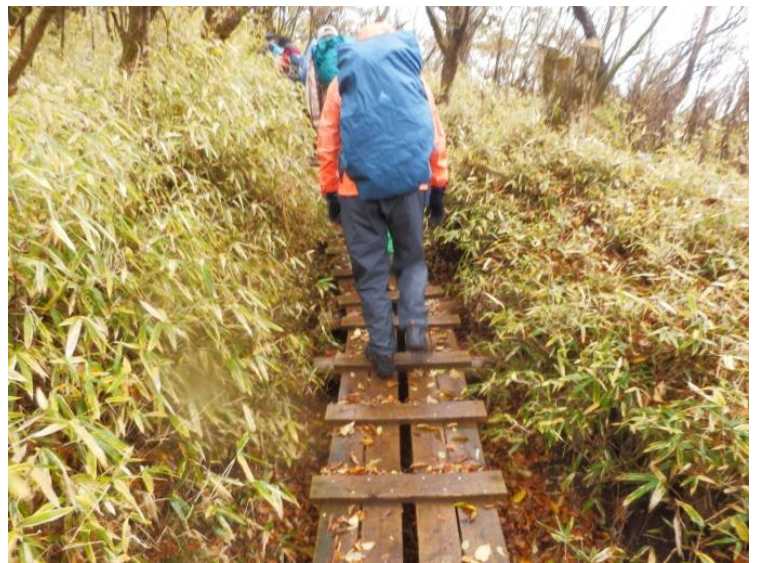
「今日は朝飯食ってこなかったんで・・・」
「あらあら・・・大丈夫？」



「神谷さん、元気そうですね！あと少しです！」
ほめ上手なリーダー



「なに撮ってるのよー！」 美しいので・・・！
「何が・・・私？ 景色？」・・・どうしょ？



道が木道の坂になっているところ・・・
これは歩きやすい！助かる！



階段部分も、木製になっていると楽チン！



やっと下社からの表参道との合流点に到着
さすがに、表参道はこの天気でもチラホラ登山者が
やって来ます



合流点の広場で一息！
もうここまで来れば・・・



「大山山頂 200m」の標識が



早くも降りて来る者が、中の若者二人をこの方が
「ナンパ！」した？された？ とりあえず上機嫌



ナンパできなかった面々は足取りも重く・・・
上に鳥居が見えてきましたよ！



疲れているけど最後の力を振り絞り・・・
阿夫利神社奥の院、最後の階段を登ります



皆に拍手で迎えられ・・・80歳大山登頂！



奥の院の前は風が強く「寒い寒い！」



風をよけて、奥の院の横でケーキと紅茶でお祝い！
「ハーピ・バースデイ、神谷さん」を合唱



パーティが終わると「寒いよ、早く降りよう！」
「えーとスケジュールでは・・・？」



神谷さんモテモテで皆と記念撮影
ニコニコ顔！



80歳以上の3人で・・・「ハイ、撮りますよ！」
ニコニコ度が落ちましたヨ



79歳の予備軍も飛び入り、4人で記念撮影
「オレ、75歳出番なし！」



「全員、80歳で大山を目指し、ガンバルゾー！、ガンバロー！」



「出発しますので集まってください！」
「下り道は、大山で最も事故が多い場所で、近年死亡事故や行方不明者なども出ています・・・
充分注意して降りてください！」



「あー、疲れたな・・・！」



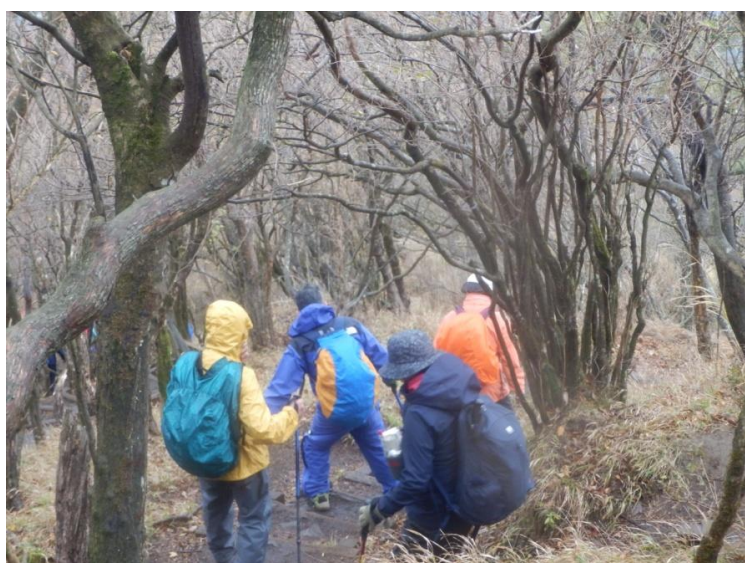
小雨にけぶって山頂からの眺望は全く・・・
「富士山も綺麗なはずなのに・・・！」



気を取り直してスピード組から下山開始



「でも良い記念になったなー・・・！」
あまり疲れていない様子の80歳



こちらの若造は「足が痛くて・・・」
階段が辛そう・・・



見晴台まで1.8km、下社まで3.1kmの標識
を横目ににらみモクモクと・・・



視界が開けると遠くに平塚の海が見える



まだこれから登って来る若者達が・・・
「元気良いね！」リーダうらやましそう？



途中休憩・給水タイム、「リーダ、スピード組から
『今、見晴台に到着した』との連絡がありました」



こちらも急がないと！
スピード組には先に下社まで出発してもらった



「フーー！」 「来年ですよね！」



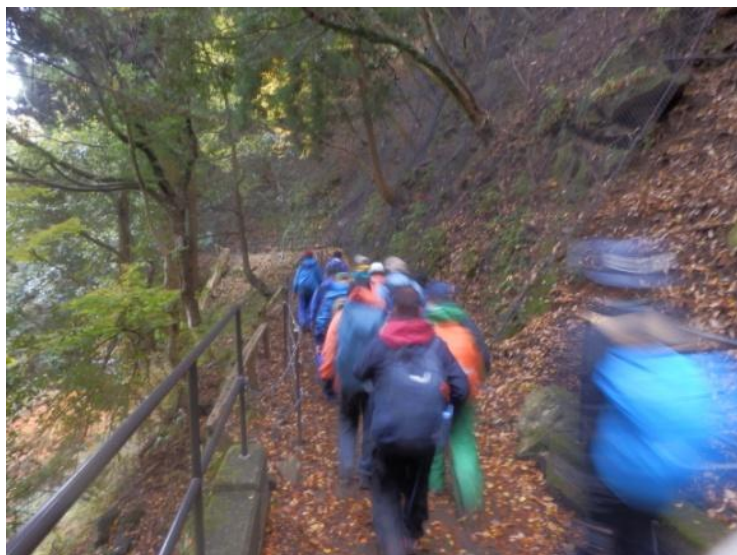
ゆっくり組、見晴台に到着！ ホットするが、風が
強く寒さが応える！



神谷さんも給水タイム
「今日は麦茶がビールに感じるな！」



暗くなりかかった山なみを眺めながら、
「そろそろ出発しましょう！」



もう残りは少し、下社目指して！
下社で甘酒飲む時間あるのかなー？？



途中の二重滝にホッとしながら・・・



滝を見物がてら、一列に並んで後から来た人達を先
に行かせて・・・



ようやく下社前に到着
ここでスピード組とゆったり組が合流



リーダー「今日はここで解散します、あとはケーブル
で降りる者、歩いて下る者自由ですが、団体で行動
して下さい、お疲れ様でした」



ケーブル組みは「ホッ・・・」として乗り込む
80歳組みは一番前の特等席に座って・・・

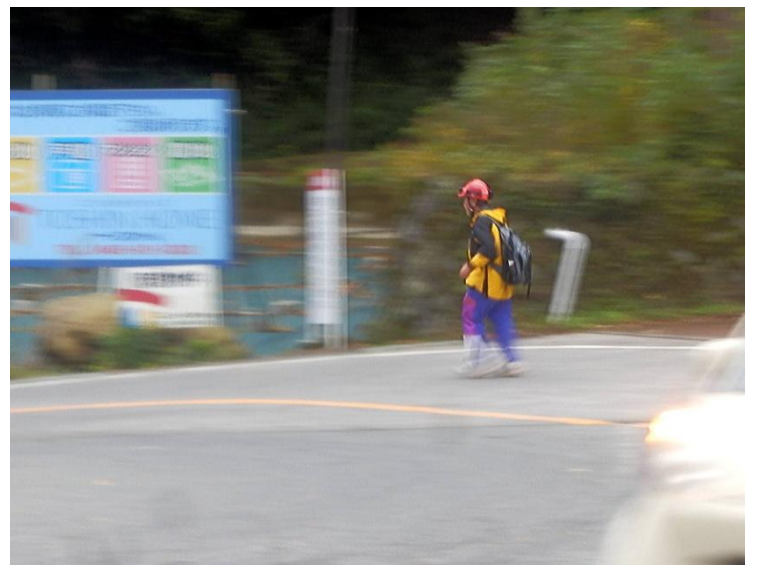


朝、スピード組だった二人は揃って元気なく・・・
ケーブルを降りて、土産店街の坂を下ります



ようやくバス停に到着、ケーブルを待ち、ケーブル
に6分乗り、駅までのバスを待っている間に徒歩下
山組が到着。仲良く同じバスで伊勢原駅へ

伊勢原で明日が誕生日の神谷さんの80歳の祝宴？
ひと時を楽しく過ごし、疲れた足を引きずりながら
良い心持ちで帰途につきました
リーダも今日はお疲れ様でした！！



その時、この方が「僕、走って伊勢原駅まで行
きます！」と飛び出していった
「えーえ、どうなってるんだ？」と皆で言って
いたら、二つ先のバス停でバスに乗ってきた
「思ったより距離がありそうなので！」